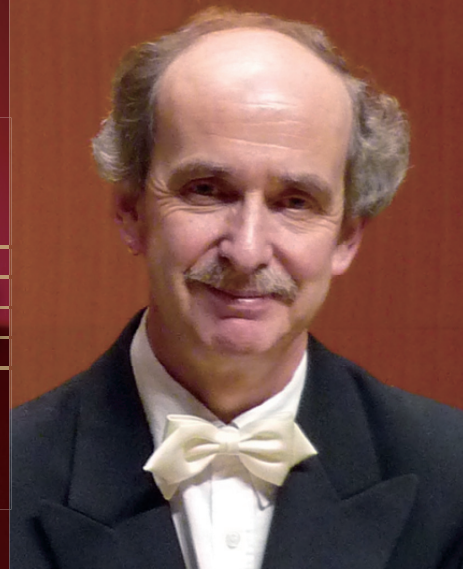


日本・オーストリア友好 150 周年記念公式コンサート

2019

アドリアン・コックスと 仲間たち in 東京



浅野 涼
Ryo Asano
(ピアノ)



神村 淳子
Junko Kamimura
(フルート)



ヤンネ 館野
Janne Tateno
(ヴァイオリン)



田中 美千子
Michiko Tanaka
(ピアノ)

PROGRAM

モーツァルト：2台のピアノのためのソナタ ニ長調 KV448
W.A.Mozart : Sonate für 2 klaviere D-Dur KV448

ピアノ：浅野 涼

マルタン：フルートとピアノのためのバラード
F.Martin : Ballade pour flûte et piano

ルーセル：笛吹きたち 作品 27 より 第 1、3 曲
A.Roussel : Joueurs de flute Op.27-1, 3

シューマン：3つのロマンス 作品 94 より 第 3 曲
R.Schumann : Drei Romanzen Op.94-3

フルート：神村 淳子

フランク：ヴァイオリンソナタ イ長調 FWV 8M8
C. Franck : Violin Sonata A-Dur FWV 8M8

ヴァイオリン：ヤンネ館野

ラフマニノフ：組曲 第 2 番 作品 17
S.Rachmaninoff : Suite No. 2 for Two Pianos, Op. 17

ピアノ：田中美千子

2019 年 11 月 10 日《日》 14:30 開演 (14:00 開場)
HAKUJU-HALL ※裏面地図参照

全自由席 ¥4,000 ※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。

前売 / ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 Web チケットの王様 <http://www.soleilmusic.com>

主催●ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 <http://www.soleilmusic.com>

後援●オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム・月刊「音楽現代」・Studio Shimizu

Adrian Cox und Musikfreunde in Tokyo 2019

Adrian Cox und Musikfreunde in Tokyo 2019

■浅野 涼 Ryo Asano, piano

京都市出身。灘中学校、灘高等学校を経て東京大学医学部医学科卒業。第11回長江杯国際音楽コンクール第1位。第12回ショパン国際ピアノコンクール in Asia 全国大会銀賞、アジア大会入賞。第22回京都フランス音楽アカデミーにて、パスカル・ロジェのマスタークラスを修了。第5回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール第3位。ウィーン国立音楽大学にてトーマス・クロイツベルガーのマスタークラスを学費全額免除で修了。ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団と共演。その他コンクール入賞、ソロリサイタル開催、コンサート出演多数。これまでに阪田誠康、野村真理の各氏に師事。現在都内の病院にて医師として勤務中。

■神村 淳子 Junko Kamimura, flute

武蔵野音楽大学卒業。京都フランスアカデミーにてR.ギオー氏のマスタークラスを修了。ローザンヌ・ウィーン等にて、A.アドリアン氏、W.トリップ氏のレッスンを受けるなど研鑽を積む。91年99年に東京ニューシティ管弦楽団と共演、93年、98年、04年にソロ・リサイタル開催。コックス氏とのジョイント・コンサートやリサイタルでの共演など、ソロ・室内楽で国内において数多くの公演に出演。また、95年、99年、07年、14年に、ルーマニア国立ジョルジュ・エネスコ・フィルハーモニー他との共演。10年より、ブルガリアのオーケストラの定期公演にて度々出演。メンバーとのブルガリア各地での室内楽公演などの海外公演を行う他、フルート・アンサンブル「ムジカ・ヨコハマ」にて、チェコ・ドイツ・ブルガリア・ハンガリー等の5回の海外公演に参加。02年、03年に、ズイホー賞特別奨励賞受賞。現在、カルチャー三ツ境講師、フルートアンサンブル「ムジカ・ヨコハマ」メンバー。

■ヤンネ館野 Janne Tatenno, violin

フィンランド生まれ。ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・パルホメニコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子各氏に師事。98年より毎年オウルンサロ音楽祭(館野音楽監督)出演。07、08年オウルンサロ音楽祭の日本版をプロデュース。11年東京文化会館にてリサイタル。12年山形交響楽団とコンチェルト協演。15年ヘルシンキでのW.ケンプのヴァイオリンコンチェルトは高評を博す。現在ラ・テンペスタ室内管弦楽団(ヘルシンキ)のコンサートマスター兼音楽監督、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバー、アルゼンチンタンゴの演奏などソロ、室内楽、オーケストラ奏者としてフィンランドと日本、2つの祖国において幅広い活動を展開中。

■田中美千子 Michiko Tanaka, piano

東京藝術大学附属音楽高校、同大学及び大学院修士課程修了。ドレスデン音楽大学大学院を最優秀で修了後、同大学で2年間非常勤講師を務める。1995年東京及び名古屋にてデビューリサイタルを開催、好評を博す。器楽国際コンクール(ドイツ)にて公式伴奏者を務め、最優秀伴奏者賞受賞。1996年8月帰国。以来、現在に至るまでソロリサイタルおよび「浦川宜也&田中美千子室内楽シリーズ」を定期的に開催。その他アポロン弦楽四重奏団、ターリッヒ弦楽四重奏団、アドリアン・コックス(Pf)など多くの演奏家と共演。いずれも各音楽雑誌に取り上げられ、高い評価を得ている。1997～2000年及び2001～2004年、東京藝術大学大学院室内楽科助手及び非常勤講師を務める。現在、国内外においてソロ、室内楽両分野で幅広く活動している。

■アドリアン・コックス Adrian Cox, piano

ロンドン生まれ。ロイヤル・ノーザン音楽大学、ウィーン国立音楽大学を首席で卒業後、オーストリアを中心に、ヨーロッパ全土、アメリカ、北欧、アジア等で主に室内楽ピアニストとして、ウィーンフィルコンサートマスター、首席奏者、アンサンブル・ウィーン・ベルリン、ウィーン国立歌劇場歌手等とコンサート、レコーディング、テレビ・ラジオの収録等を行い、揺るぎない地位を確立、共演者から絶大なる信頼を得る。ザルツブルグ音楽祭他多数の音楽祭にも毎年招待される。スイスのレンクで開催の国際夏期セミナーでは10年以上室内楽の講師を務め、教育者としても高く評価される。1985年初来日以来ウィーンフィル奏者とのツアー他、日本人アーティストとの共演等で広く知られる。2002～04年PMF国際音楽祭(札幌)にウィーンフィルトップメンバー等とともに招聘される。ウィーン国立音楽大学教授。

コックスが共演した演奏家は、P.シュミードル、E.オッテンザーマー、A.プリンツ、N.トイブル、R.ヴィーザー、松本健司(以上Cl.)、W.シュルツ、W.トリップ、D.フルーリー(以上Fl.)、M.ガブリエル(Ob.)、G.ヘッツェル、W.ヒンク、B.ビベラウアー、U.ダンホーファー、大谷康子(以上Vn.)、F.ドレシャル、A.スコッチチ、M.シュトッカー、M.ワルシャフスキー、木越 洋、北本秀樹、安田謙一郎、藤村俊介(以上Vc.)、ウィーンフィル首席奏者によるウィーン木管アンサンブルや、木管五重奏団クインテット・ウィーン、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団、ウィーン国立歌劇場歌手のR.シュトライヒ、B.ポシュナー(Sop.)、そしてアンサンブル・ウィーン・ベルリン他多数。



HAKUJU-HALL ご案内

東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 (榎白寿生科学研究所本社ビル 7F)
TEL. 03-5478-8867

千代田線「代々木公園駅」、小田急線「代々木八幡駅」より徒歩5分
バス：「富ヶ谷」下車徒歩1分 渋谷南口バスターミナルより10分
渋61(初台駅行)・渋63(中野行)・渋64(中野行)・渋66(阿佐ヶ谷行)・渋67(笹塚循環)

